

## 自立活動学習指導案（実践B）

### 1 単元名 「見て聞いて、理解を深めよう」

### 2 単元観

本単元は、自分で必要な情報を得る力を「みる・きく（相手に注意を向け、話の内容を正確に理解・記憶し、共感的に見たり聞いたりして反応を相手に示す行為）」活動を通して高めることを目指している。これは、特別支援学校学習指導要領に示されている自立活動の内容「1 健康の保持 (2) 病気の状態の理解と生活管理、(3) 身体各部の状態の理解と養護、(4) 障害の特性の理解と生活環境の調整」「2 心理的な安定 (3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲の向上」「3 人間関係の形成 (1) 他者とのかわりの基礎、(2) 他者の意図や感情の理解」「6 コミュニケーション (2) 言語の受容と表出、(3) 言語の形成と活用、(4) コミュニケーション手段の選択と活用、(5) 状況に応じたコミュニケーション」に主に関連している。

本単元は4時間で計画した。まず、耳の構造や自分の聞こえ方など、聞こえに関する基本的な仕組みについて学習した後、映像から必要な情報を得る活動や友達の意見を見たり聞いたりして、多様な見方・考え方に触れることのできるゲームを行う。用いる映像は、「クロスカルチャー『ろう者の生活』」と「手話ゲーム『私は誰でしょう?』」の2本とし、6年生が日常的に手話言語を用いていることから、どちらも成人ろう者が手話言語で話している映像を用いることとした。映像「ろう者の生活」では、お知らせランプなどの情報保障機器について分かりやすく説明されており、聴覚障害者の生活や文化について知ることができる。また、映像「私は誰でしょう?」では、ゲームのルールを映像から読み取って理解し、児童同士で実際に行う。ここでは、映像や友達の話から必要な情報を読み取る力だけではなく、質問する力の向上も期待できる。単元の最後に、相手の意見を聞いて自分の考えを深めることをねらいとして、ある課題についてグループ全員の合意によって意思決定をするゲーム「コンセンサスゲーム」を行うこととした。

### 3 児童の実態及び指導方針 ※（ ）は、「みるきくパッケージ」のIシートで示されたタイプ

本単元に関わる児童の実態は、

- ・他者の心情を理解したり、集団に合わせて行動を変えたりすることができる。聴覚障害に関する知識はまだ少なく、十分な情報を得ることができていない。失敗は自分のせいだと自己肯定感が低い児童もいる。（A1タイプ）
- ・表現できる手話の語彙はまだ少ないが、クラスメイトと積極的にかかわることができる。聴き漏らしたり、話者を見ていなかったりして、意味を取違えて自分なりの解釈になることがある。（A2タイプ）
- ・自分の言動を他者がどう感じるか想像することが苦手であり、相手の話を最後まで聞かず、一方的に話すことがある。（A4タイプ）

などである。

授業中、児童同士で教え合う様子も頻繁に見られるが、相手の反応を待たない一方的な場合も多い。そのため、相手の話を聞く態度や姿勢については、他者と良好な関係をもつうえでのマナーとして身に付けさせたい。これまで特設の自立活動の時間では、主に日本語の書き方や助詞の使い方について学習し、実態や内容に合わせて個別学習または集団学習で行っている。本単元は「みる・きく」に焦点を当て、他者と関わり合う集団を構成した指導が効果的であると考え、集団で学習を行うこととした。

#### 4 単元目標

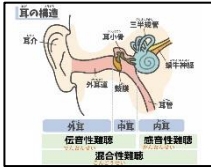

- (1) **全体の目標** 映像の視聴や児童同士のやりとりを通して、聴覚障害に関する内容や他者の考えを理解し、自分の考えを深めることができる。
- (2) **個別の目標** ※「みるきくパッケージ」のⅡシートを参考にして立てた本単元の個別の目標
- A 1 タイプの児童：自分の聞こえ方を理解し、情報機器や情報保障について知識を深めることができる。  
【健康の保持(2)(3)(4)、心理的な安定(3)】
- 映像の内容を理解し、必要な情報を得ることができる。【コミュニケーション(2)】
- A 2 タイプの児童：質問や応答を通して、話の内容を理解したり考えを深めたりすることができる。  
【コミュニケーション(4)(5)】
- A 4 タイプの児童：自分の聞こえ方の特徴が分かる。【健康の保持(2)(3)(4)】
- 相手の話を最後まで聞いてから話すことができる。【コミュニケーション(4)(5)】

#### 5 指導と評価の計画（全4時間）

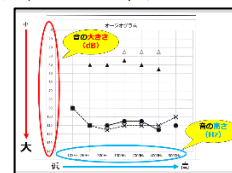
時間	○行った主な活動 (ⅢシートやⅣシートを基に作成)	個別の評価項目		
		A 1 タイプ	A 2 タイプ	A 4 タイプ
1	「自分の聞こえ方を理解しよう」 ○耳のしくみ、音の大きさと高さの表し方、自分の聴力、オーディオグラムについて学習する。 ○自分の聞こえ方を説明したり、友達の聞こえ方について聞いたりする。	聞こえの仕組みを知り、自分の聴力や聞こえ方の特徴を理解している。	友達の発言から人によって聞こえやすい音や聞こえにくい音が違うことに気付いている。	自分の聞こえ方の特徴が分かっている。友達の説明を最後まで聞いてから発言している。
2	「音を●●に変える道具について学習しよう」 ○情報保障機器（お知らせランプ、目覚まし時計）を実際に操作する。 ○成人ろう者が話す映像を視聴し、10年前、さらに昔の情報保障機器について知る。2人組で相談し、ワークシートにまとめる。	情報保障機器に関心を持ち、自分も利用できそうなものがないか考えながら視聴している。	映像や友達との話合いから、情報保障機器について正しく理解している。	情報保障機器を必要としている人があることを理解している。
3	「質問をして答えをみつけよう」 ○成人ろう者が説明している映像を視聴し、ゲームの進め方を理解する。 ○質問を繰り返して答えを導き出す手話ゲーム「私は誰でしょう」をする。	映像を正確に読み取り、ゲームでは答えにつながる具体的な質問をしている。	映像からゲームの進め方を正しく理解している。話の筋に合った質問や応答ができ、答えにたどりつくことができる。	他児の質問や応答を最後まで聞いてから話している。
4	「必要性の高い順に並べよう」 ○コンセンサスゲーム「砂漠で遭難したら!？」と「NASA」をする。個人で考えた後、2人組で相談をして、必要性の高い順に並べる。 ○発表し合い、他の班の考えを聞く。	他者の意見を参考にしながら、必要性の高い理由を具体的に挙げ、順位付けてきている。	意見交換から必要性の高い理由を意識しながら順位付けしている。	友達の考えや考えた理由を聞いて、よりよい順番に並べようとしている。

## 6 第1時の展開

- (1) ねらい 音の大きさの表し方やオーディオグラムの見方を学習することを通して、自分の聞こえについて理解を深める。
- (2) 準備 スライド、個人の聴力測定結果、身体障害者手帳のコピー、学習ワークシート、評価シート（教師用）
- (3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される児童の反応	◎研究上の「みる・きく」に関する手立て ○指導上の留意点及び支援 ◇評価
導入 10分	<p>1 本時のめあてと学習内容を知る。</p> <p>本時のめあて 自分の聞こえ方を理解しよう。</p> <p>○自分の聞こえ方について、隣の児童に説明する。（一人1分間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・僕はだいたい聞こえるよ。</li> <li>・人工内耳を取ると聞こえない。</li> </ul> <p>○耳のしくみを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耳の中は、複雑だな。</li> <li>・鼓膜は知っている。</li> </ul>  <p>○伝音性・感音性・混合性難聴について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（手帳を見て）自分は感音性難聴だ。</li> </ul>	<p>・本時のめあてと、学習内容を説明する。</p> <p>◎自分の聞こえ方について、より理解が深まるよう、授業の最初と最後に他児へ説明する時間を設ける。 T1とT2で分担して、児童がどのような内容を話しているか評価シートに簡単に記録しておく。</p> <p>○耳の形、名称、難聴の種類など、見て理解しやすいようにスライドを工夫する。</p> <p>○耳の各部分がきちんと働くことで音が聞こえることや障害の部位によって伝音・感音・混合性難聴となることを説明する。</p> <p>◎障害者手帳に障害名が載っていることを知らせ、持っている児童は見るように指示する。</p> <p>○持っていない児童には、コピーしたものを渡す。</p> <p>◇A4：友達の発言を最後まで聞いてから発言している。</p>
展開 ① 10分	<p>2 音の大きさと高さの表し方を知る。</p> <p>○音の大きさdBと高さHzの単位を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて見る単位だ。</li> </ul> <p>○いろいろな音の大きさを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木の葉にも音があるのか。</li> <li>・数字が大きいほど大きな音だ。</li> </ul> <p>○自分の聞こえる音、聞こえない音について、友達と話す。（3分間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私、チャイムは聞こえない。</li> <li>・私は少し聞こえる。</li> </ul> <p>○聴力80dBと30dBを例に、聞こえる範囲を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴力80dBのとき、80dBより大きい音が聞こえるということか。</li> <li>・逆に80dBより小さい音は聞こえない。</li> <li>・補聴器や人工内耳を付けると聞こえる範囲が広がるね。</li> </ul> <p>○自分の聴力を確認する。</p>	<p>○単位のイメージがもてるように、長さ（cm、mなど）や重さ（g、kgなど）の単位を例に出し、音の大きさや高さにも単位があることを説明する。</p> <p>○音の大きさは、見てイメージがしやすいように、イラストが入った図を用いる。</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・数字が大きいほど大きな音であることを確認する。</li> </ul> <p>○自由に話した後、どのような話が出たか発表してもらい、聞こえるからよい、聞こえないから悪いではなく、人それぞれ聞こえ方が違うことをおさえる。</p> <p>◎聴力80dBを例に聞こえる範囲を理解させた後、補聴器や人工内耳を装着すると聞こえる範囲が広がり、聞こえる音の種類も多くなることに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴力はいくつか尋ね、児童が自分で覚えているか確認する。</li> <li>・手帳に書いてある聴力は、手帳を申請したときのものであることを説明する。</li> <li>・最近の聴力が分かる資料として、個別の「聴力測定結果」とワークシートを配布する。（T2）</li> <li>・配布した「聴力測定結果」のどこを見れば聴力が書</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前に調べたけど、忘れた。</li> <li>・前回病院で測ったとき、人工内耳を付けて30dBくらいだった。</li> <li>・（手帳に）聴力が書いてある。</li> <li>・（聴力測定結果から）60dBだ。</li> </ul> <p>○ワークシートに記入する。</p>	<p>かれているか、確認する。</p>
展開② 15分	<p>3 オージオグラムの見方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院で検査すると、もらうグラフだ。でも見方は知らない。</li> <li>・聴力測定結果に載っているよ。</li> <li>・難しいグラフだな。</li> <li>・縦軸が音の大きさ、横軸が音の高さを表しているのか。</li> </ul> <p>○オージオグラムから分かることを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高い音が聞こえやすい。</li> </ul> <p>○自分の聞こえやすい音の範囲、聴こえにくい音の範囲をグラフから読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフの見方が分からない。</li> <li>・私は高い音が聞こえにくいんだ。</li> <li>・左右で聞こえ方は同じ。</li> </ul>	<p>◎聴力だけではなく、聞こえの特徴を理解するために、オージオグラムも扱うこととする。</p> <p>・オージオグラムを知っているか尋ねる。</p> <p>・スライドに注目させ、縦軸と横軸、記号がそれぞれ何を表しているか確認する。</p> <p>○オージオグラムは複雑で、聞こえの特徴を読み取れる児童は少ないことが予想される。一つ例を挙げ、どのように読み取るか全員で確認する。</p> <p>◎自分の聞こえを他児と比較して優劣をつけようとする児童がいた場合、ここでは他者との比較ではなく、自分の聞こえの特徴を理解することを伝える。</p> <p>◇A2：友達の発言から人によって聞こえやすい音や聞こえにくい音が違うことに気付いている。</p>
展開③ 5分	<p>4 自分の聞こえ方を説明する。</p> <p>○自分の聞こえ方について、隣の児童に説明する。（一人2分間）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した内容を盛り込みながら説明するよう促す。</li> </ul> <p>◎自分の聞こえについて、より具体的に説明ができるよう、ワークシートを参考にしながら説明をしてもよいことにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・T2はタイマーをセットする。</li> </ul> <p>◇A1：聞こえの仕組みを知り、自分の聴力や聞こえ方の特徴を理解している。</p> <p>◇A4：自分の聞こえ方の特徴が分かっている。</p>
まとめ 5分	<p>5 本時の振り返りをする。</p> <p>○ワークシートに今日の感想を記入する。</p> <p>○感想を発表する。</p>	<p>○振り返りは短時間で記入ができるように、ワークシートの最後に入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感想を発表させる。</li> </ul>



## 自分の聞こえ方を理解しよう

年 名前

### 1. 耳のしくみ

① 外耳または中耳に異常があった場合…

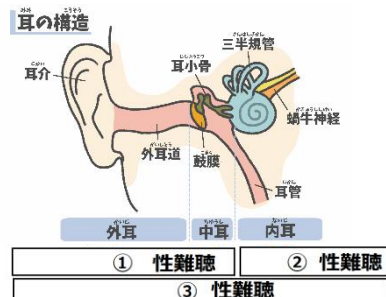
性難聴

② 内耳または聴神経に異常があった場合…

性難聴

③ ①②の両方が混ざった場合…

性難聴



### 2. 音の大きさと高さ

① 音の大きさを表す単位…

(読み方： )

② 音の高さを表す単位は…

(読み方： )

③ 聴力 80dB とは、どういうことですか。



④ 自分の平均聴力を書きましょう。

・ 裸耳 (補聴器や人工内耳をつけていないとき) …右  dB / 左  dB

・ 装用 (補聴器や人工内耳をつけているとき) …右  dB / 左  dB



### 3. 自分の平均聴力やオーディオグラムを見て、自分の

聞こえ方について分かったことを書きましょう。


★これもチェック！ ○△×

①自分の聞こえ方が説明できた。	<input type="text"/>
②友達の話最後までしっかり聞いた。	<input type="text"/>

(5) 主なスライド

今日のめあて 「自分の聞こえ方を理解しよう」

1. 耳のしくみ
2. 音の大きさと高さ
3. オーディオグラム
4. まとめ



自分の聞こえ方、説明できるかな？

聞くときのポイント  
友達の話は、最後まで  
しっかり聞こう。

となりの友達に説明してみよう（1人1分）



耳の構造

耳介

この続きは…



耳の構造

耳介

三半規管

耳小骨


外耳道

鼓膜

耳管

蝸牛神経

外耳 中耳 内耳



耳の構造

耳介

三半規管

耳小骨

外耳道

鼓膜

耳管

蝸牛神経

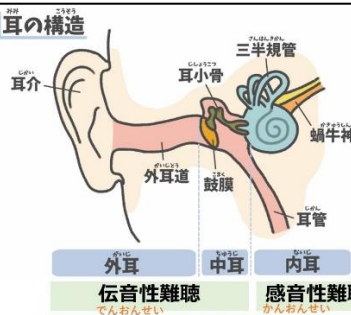
外耳 中耳 内耳

伝音性難聴  
でんおんせい

感音性難聴  
かんおんせい

混合性難聴  
こんごうせい

みんなは、  
・伝音性難聴  
・感音性難聴  
・混合性難聴  
どれかな？



音の大きさ… 単位は **dB** (デシベル)

音の高さ… 単位は **Hz** (ヘルツ)

(周波数)

音の大きさ

小さい

20dB 木の葉のふれあう音、鉛筆で書く音

30dB ささやき声

40dB 静かな住宅地、小鳥の声

50dB トイレの流す音、エアコンの室外機

60dB チャイム、ふつうの会話

70dB そうじき、テレビ

80dB ピアノ、ゲームセンター

90dB 大声、犬の鳴き声、パチンコ店

100dB 電車が通るときのガード下

110dB ヘリコプターのそば、くしゃみ

120dB 飛行機のエンジンの近く

自分が  
聞ける音・  
聞こえない音  
について、  
友達と話してみよう。

大きい



音の大きさ

小さい

20dB 木の葉のふれあう音、鉛筆で書く音

30dB ささやき声

40dB 静かな住宅地、小鳥の声

50dB トイレの流す音、エアコンの室外機

60dB チャイム、ふつうの会話

70dB そうじき、テレビ

80dB ピアノ、ゲームセンター

90dB 大声、犬の鳴き声、パチンコ店

100dB 電車が通るときのガード下

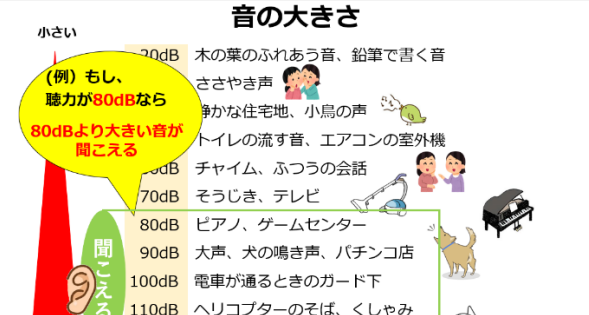
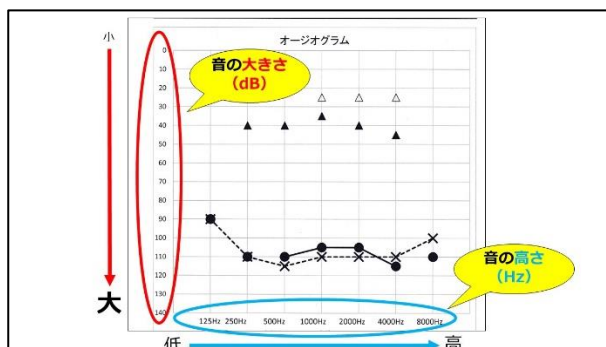
110dB ヘリコプターのそば、くしゃみ

120dB 飛行機のエンジンの近く

(例) もし、  
聴力が80dBなら  
80dBより大きい音が  
聞ける

聞ける


大きい

4. まとめ

もう一度、自分の聞こえ方を説明してみよう

となりの友達に説明してみよう（3分間）



## 7 第2時の展開

- (1) ねらい 情報保障機器に関する映像を視聴したり、実物を触ったりすることを通して、聴覚障害者が使っている用具について知る。
- (2) 準備 情報保障機器（お知らせランプ、目覚まし時計）、スライド、映像、ワークシート、評価シート（教師用）
- (3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される児童の反応	◎研究上の「みる・きく」に関する手立て ○指導上の留意点及び支援 ◇評価
導入 5分	1 本時のめあてを知る。 ○家（別室）にいるときの呼ばれ方 ・声で呼ばれる。 ・メールが送られてくる。 ・兄弟が直接呼びに来る。 本時のめあて 音を●●に変える道具について学習しよう。	○家族と別の部屋で過ごしている時、家族からどのような方法で呼ばれるか尋ね、生活を振り返る機会とする。家庭や聞こえ方によって様々な方法があることにも気付けるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">今日のめあて 「音を○○に変える道具について、 学習しよう」 1. 音を○○に変える道具 2. ろう者の生活 3. まとめ</div>
展開 ① 10分	2 情報保障機器を実際に操作する。 ○教師に注目し、袋の中身を知る。 ・ライトかな。 ・使ったことがある。 ・学童や友達の家で見たことがある。 ○お知らせランプと目覚まし時計を実際に操作してみる。 ・光ったり振動したりして分かるのか。 ○自分の生活を振り返る。 ・朝は携帯のアラームで起きているよ。 ・お母さんに起こしてもらっている。 ・お客さんが来た時、自分は玄関に出ないからお知らせランプは必要ないか。	○お知らせランプは袋から出して見せることで、注意がしっかり向くようにする。 ◎お知らせランプと目覚まし時計を用意し、事前に使用方法を確認しておく。 ○自分の経験や感想を児童同士でやりとりできるように、教室前方に集まって操作を行う。 ○「みんなは毎日どうやって起きているの?」「お客さんが来た時にどうやって分かるの?」など、生活を振り返ることのできる問い掛けをする。 ○自分には必要がないと発言があったときは、なぜこの機器があるのかを考えさせたり、親元を離れたときに便利かもしれないなど将来を想像させたりする。
展開 ② 5分	3 「日常生活用具」を知る。 ○生活の中には、どのような音があるか考える。 ・話し声とか救急車とか…。 ○音情報を得るための様々な道具があることを知る。 ・筆談器は見たことがある。 ・FAXはうちにもあるよ。 ・メールもそうだね。 ○「日常生活用具」という言葉を知る。	・生活しているとどのような音があるか尋ねる。10個程度出たところで次に進む。 ・音を光、振動、文字などに変えることで、聞こえにくくても音の情報を得ることができることを確認する。 ・「日常生活用具」は市町村に申請することで、借りたり補助金が出たりする。詳しくは、中学部生または高等部性になってから勉強することを伝える。 ・音を変える道具は以前からあったのか発問し、次につなげる。
展開 ③ 10分	4 映像「ろう者の生活」を視聴する。 ○映像「YouTubeクロスカルチャー『ろう者の生活』」を見る。（10分弱） ・古いお知らせランプも見たことある。 ・映像で出てきた細長い棒は何だろう。	○映像を視聴する前に、10年前に撮影されたものであることを伝えておく。 ◎身近に感じられるように、成人ろう者が説明している映像を使う。映像は児童が読み取りやすい手話のスピードや内容であるものを用いて、児童のコミュニケーション手段に合わせて、音声通訳や字幕を入れる。 ◇A1：情報保障機器に関心を持ち、自分も利用できそうなものがないか考えながら視聴している。

<p>展開④10分</p>	<p>5 視聴して分かったことをまとめる。</p> <p>○個人で読み取った内容をワークシートの1に書き込んだ後、2人組になって確認し、足りない部分を書き加える。</p> <p>○映像を見た感想を述べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔は赤ちゃんの手にひもを結んでいたとか、大変だなと思いました。</li> <li>・今は便利な道具があってよかった。</li> <li>・映像で話していた将来あったらいい物が、今現実にあるのですごくいいと思いました。</li> </ul> <p>○ワークシートの2に記入し、音を見て分かる形に変える機器が増えていることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホのLINEとか。</li> <li>・駅の電子掲示板もそうかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを配布する。</li> <li>・朝起きる時、来客があったとき、友達に連絡したいとき、赤ちゃんが泣いたとき、料理をするときの各項目について、映像から読み取ったことを記入させる。</li> </ul> <p>○2人組で話しても分からない部分は全体で取り上げて確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10年前や昔の方法を知った感想を聞く。</li> <li>・スライド番外編で最新情報を見せ、身の回りにある機器へ関心が広がるようにする。</li> </ul> <p>◇A2：映像や友達との話合いから、情報保障機器について正しく理解している。</p> <p>◇A4：情報保障機器を必要としている人がいることを理解している。</p>
<p>まとめ5分</p>	<p>6 身近にある道具についてまとめる。</p> <p>○ワークシートに分かったことや感想を記入し、発表する。</p>	<p>○振り返りは短時間で記入ができるように、ワークシートの最後に入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感想を発表させる。</li> </ul>

#### (4) 主なスライド

今日のめあて

**「音を〇〇に変える道具について、学習しよう」**

1. 音を〇〇に変える道具

2. ろう者の生活

3. まとめ



**1. 音を〇〇に変える道具**

音情報を光、振動、文字などに変えて伝える道具。




筆談器      お知らせランプ      FAX (ファクシミリ)      字幕放送      など

市役所に申請すると、借りたり、補助金で買ったりできる道具もあります。

【日常生活用具】



詳しくは、中学部で勉強してね。




**2. ろう者の生活を見てみよう**

10年前に撮影された映像です

手話あいランドTV クロスカルチャー「ろう者の生活」を視聴  
<https://www.youtube.com/watch?v=ffsBBRX9Xec>

**3. まとめ いろいろな用具が登場しました。**



手話あいランドTV クロスカルチャー「ろう者の生活」  
<https://www.youtube.com/watch?v=ffsBBRX9Xec>

映像を見て、分かったことをプリントにまとめよう。



(5) ワークシート

## 音を〇〇に変える道具について学習しよう

年 名前

## 1. ビデオ「ろう者の生活」をまとめましょう。

	方法	
	10 年前	もっと昔
①朝起きるとき		
②来客があったとき		
③友達に連絡するとき		
④赤ちゃんが 泣いたとき		
⑤料理をするとき		

## 2. 身近にある、音を光・振動・文字などに変える道具を書きましょう。

### 3. 今日分かったことや感想を書きましょう。

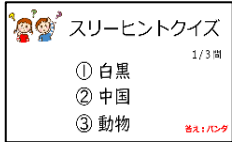
[illegible]

★これもチェック！      ○△×

①映像の内容がよく分かった。	
②友達の話がしっかり聞けた。	

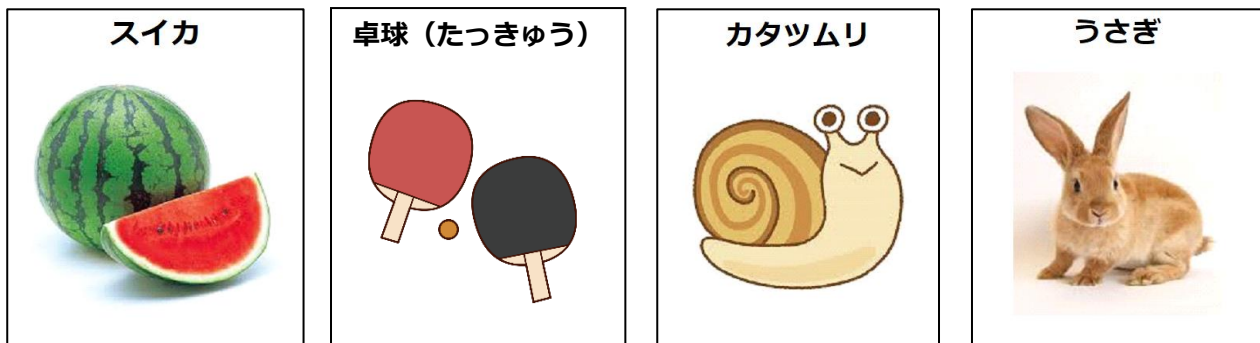
## 8 第3時の展開

- (1) ねらい 手話ゲーム「私は誰でしょう？」を行うことを通して、質問や応答する力を高める。
- (2) 準備 スライド、映像、振り返りシート（児童用）、評価シート（教師用）
- (3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される児童の反応	◎研究上の「みる・きく」に関する手立て ○指導上の留意点及び支援 ◇評価
導入 5分	1 スリーヒントクイズに答える。（3問） ・このクイズ、やったことがある。 ・簡単だ！  本時のめあて 質問をして答えをみつけよう。	・三つのヒントから答えを考える問題を出題する。（3問） ・次からヒントがないことを伝え、本時のめあてを発表する。 ・黒板にめあてを書く。（T2） 
展開 ① 10分	2 映像を視聴して、ゲームのルールを理解する。 ○映像「YouTube 手話ゲーム『私は誰でしょう？』」を視聴する。（10分弱）  ○ルールを理解し、例題に取り組む。 ・ルールは分かったぞ。問題を出す人と質問する人がいて、最初は質問から始まるんだ。 ・いろいろな質問の仕方があるな。	◎楽しみながら質問や応答する力が身に付くように、「私は誰でしょう？」ゲームを行う。 ◎ろう者の映像を用いることで、手話での質問や応答の仕方を学習できるようにする。映像は、児童が読み取りやすい手話のスピードや内容のものを用意する。 ○聴覚を活用している児童が内容を把握できるように、事前に音声通訳を入れておく。 ○映像の視聴後、ゲームの方法と映像の中の例で出された質問内容をイラストや文字で掲示しながら簡潔に説明し、分からないところがなかったか確認する。 ◇A 1：映像を正確に読み取っている。 ◇A 2：映像からゲームの進め方を正しく理解している。 ○映像に出てくる例題では、男性が2役を演じているが、手話に不慣れな児童は読み取りが難しいことが想定されるため、映像に役割を表示する。
展開 ② 25分	3 「私は誰でしょう？ゲーム」をする。 ○追加のルールを確認する。 ・5分以内に答えるぞ。  ○ゲームを行う。 ・どんな質問がいいかな。 ・あなたは人ですか？動物ですか？ ・なかなか答えが分からないな。 ・少しずつ答えが分かってきたぞ。次はあの質問をしてみよう。 ・（1問目を終えて）5分では答えが出ないなあ。質問や応答を工夫した方がいいな。	・スライドを見ながら追加のルールを全体で確認する。 ○質問するときと答えが分かったときは挙手をするルールを設けることで、他児の発言をしっかりと聞けるようにする。 ・互いの発言が見やすいように出題者は前に出て、他児の座席は馬蹄形で行う。 ○時間制限を設け（1問5分）、全員出題者を経験できるようにする。5分を超えても答えが出ない時は、出題者が答えを発表する。 ・答えはカードにして数種類用意しておき、出題者はその中から選択する。 ・1問目の出題者が2問目の出題者を決める。 ・1問終わったら感想を聞き、改善点があれば次の問題に生かす。 ◇A 1：答えにつながる具体的な質問をしている。

		<p>◇A 2：話の筋に合った質問や応答ができ、答えにたどり着くことができる。</p> <p>◇A 4：他児の質問や応答を最後まで聞いてから話している。</p>
まとめ5分	<p>4 本時のまとめと振り返りをする。</p> <p>○振り返りシートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りシートを配布する。</li> <li>・感想を発表させる。</li> </ul>

(4) 答えカード (例)



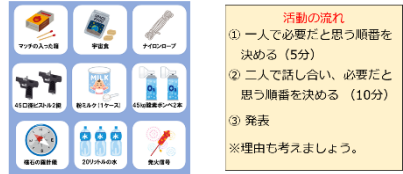
(5) 板書計画

めあて 質問をして、答えをみつけよう。	
<p>ゲーム「わたしは誰でしょう」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 20px; text-align: center; height: 100px;"> <p>ゲームのルール</p> </div>	<p>映像に出てきた質問 (例)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あなたは人ですか。動物ですか。</li> <li>・あなたは海にいますか。陸にいますか。</li> <li>・走るスピードは速いですか。</li> <li>・足は何本ですか。</li> <li>...</li> </ul> <p style="text-align: right;">答え へび</p> </div>

## 9 第4時の展開

- (1) ねらい コンセンサスゲームを行うことを通して、質問する力を高めたり、他児の意見を聞いて自分の考えを深めたりする。
- (2) 準備 スライド、ワークシート、アイテムのカード、ホワイトボード4枚、評価シート（教師用）
- (3) 展開

時間	学習活動 ・予想される児童の反応	◎研究上の「みる・きく」に関する手立て ○指導上の留意点及び支援 ◇評価
導入 5分	<p>1 本時のめあてを知る。 ○本時のめあて。</p> <p>本時のめあて 必要性の高い順に並べよう。</p> <p>○「今日のポイント」を意識する。 【今日のポイント】 友達の話は最後まで聞く、友達の考えをすぐ否定しないで聞く。</p>	<p>・コンセンサスの意味（話し合いをして、意見を一つにまとめること）を説明し、本時のめあてを伝える。</p> <p>今日のめあて「必要性の高い順に並べよう」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コンセンサスゲーム「砂漠で遭難したら」</li> <li>2. コンセンサスゲーム「NASA」</li> <li>3. まとめ</li> </ol> <p>コンセンサスとは、話し合っただけで決めるということ。</p> <p>今日のポイント</p> <p>★友達のことをしっかり最後まで聞く。 ★友達の考えを否定しないで聞く。</p> <p>友達のことを参考にしながら、自分の考えを深めよう。</p>
展開 ① 10分	<p>2 コンセンサスゲーム「砂漠で遭難したら!？」をする。</p> <p><b>コンセンサスゲーム「砂漠で遭難したら」</b> あなた達は、アメリカ旅行で飛行機に乗っています。しかし、飛行機の故障で墜落してしまいました。目を覚ますと、そこは砂漠の真ん中。あなた達は生き残るため、飛行機から使えるようなアイテム4つを見つけてきました。必要だと思う順番に並べよう。</p> <p>アイテム：ライト、一人一リットルの水、方位コンパス、手鏡</p> <p>※参考 <a href="http://keppentyan.livedoor.blog/archives/12339175.html">http://keppentyan.livedoor.blog/archives/12339175.html</a></p> <p>○問題を理解する</p> <p>・アイテムは4個。必要だと思う順番に並べるのか。</p> <p>○個人で考える（2分）</p> <p>・生きるために水は必要だから…。</p> <p>・鏡は使えないよ。</p> <p>○自分で考えた順位とその理由を紹介し合い、一つにまとめる。（2人組 3分）</p> <p>・順番は同じ、でも理由は違うね。</p> <p>・やっぱり1番は水だね。</p> <p>○発表する</p> <p>・なるほど、他の二人は私たちと違う順番だ。どうしてだろう。</p> <p>○専門家の考えを知る。</p>	<p>○問題のストーリーは、状況がイメージしやすいようにイラストを入れたスライドで説明する。</p> <p>○1問目は活動の流れを理解することに焦点を当て、アイテムは少ない4種とする。</p> <p>・タイマーをセットして、時間を明示する。</p> <p>見付けた使えるものは、下の4つです。 必要だと思う順番に並べよう。</p> <p>活動の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 一人が必要だと思う順番を決める（2分）</li> <li>② 二人で話し合い、必要だと思う順番を決める（3分）</li> <li>③ 発表（理由）を順番に発表する。決めていくように。</li> </ol> <p>※理由も考えよう。</p> <p>○ワークシートを配布する。日本語文での表記を苦手としている児童もいるため、聞くことを主な活動としている本時では、理由の欄はメモ書きでもよいこととする。</p> <p>○2人組で話し合う前に、聞くときのルール（友達の話は最後まで聞く、否定しないで聞く。）を再度確認する。</p> <p>・発表時は、児童がまとめたプリントをタブレット端末で撮影し、TVモニターに映す。</p> <p>○聞き手がTVモニターに映した内容と発表者の顔が同時に見られるように、発表はTV横に立って行うようにする。</p> <p>◎いろいろな考え方がるため、答えは一通りでないことを伝える。</p> <p>◎専門家の考えは、理由の述べ方などが参考となったり、自分の考えを深める機会にもなったりするため、一つの回答例として紹介する。</p>

<p>展開 ② 25 分</p>	<p>3 コンセンサスゲーム「NASA」をする。</p> <p>○問題を知る</p> <p><b>コンセンサスゲーム「NASA」</b>          あなた達は、宇宙船に乗って月面に着陸しようとしている宇宙飛行士です。しかし、月面着陸の直前で故障し、墜落しました。墜落の衝撃で、宇宙船は動かすことができませんが、使えるアイテムが9個残っていました。必要だと思う順番にアイテムカードを並べよう。</p> <p>アイテム：マッチの入った箱、宇宙食、ナイロンロープ、ピストル2挺、粉ミルク、酸素ボンベ2本、磁石の羅針儀、水20リットル、発火信号</p> <p>※参考  <a href="http://keppentyan.livedoor.blog/archives/12220688.html">http://keppentyan.livedoor.blog/archives/12220688.html</a></p> <p>・アイテムが9種類！順番を付けるのは大変だなあ。</p> <p>○個人で考えカードを並べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1番必要なのは、水か、ボンベか。</li> <li>・聞こえないからFM受信機はいらない。</li> </ul> <p>○2人組になってそれぞれの考えを話し合い、一つにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は、水を1番にしたよ。生きるために必要だから。2番は…。</li> <li>・なるほど。私は、1番が酸素ボンベ。宇宙は空気がないから必要だと思う。</li> </ul> <p>○発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・僕たちと順番は違うけど、なるほど。</li> </ul> <p>○専門家の考えを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・酸素がないからマッチは使えないのか、なるほど。</li> </ul>	<p>・問題は、スライドを使って説明する。</p> <p>◎NASAでは、話し合いが活発になるように、アイテムの数を10種に増やして行う。</p> <div data-bbox="855 280 1275 515"> <p>残っていたアイテムは、下の9個です。 必要だと思う順番にアイテムカードを並べよう。</p>  </div> <p>○個人での活動に入る前に、アイテムの中で用途が分からないものがある場合は、全体で確認する。</p> <p>◎自分で操作しながら順位を付けたり、2人組でも順位付けが見て分かるように、アイテムカードを用意しておく。裏に磁石をつけておき、ホワイトボード上で操作できるようにしておく。</p> <p>○アイテムカードは、物のイメージがつかみやすいようにイラストを入れておく。</p> <p>○教師は児童同士のやりとりを観察し、評価を行う。話し合いが止まってしまうなどの場合は、支援に入る。</p> <p>◇A1：他者の意見を参考にしながら、必要性の高い理由を具体的に挙げ、順位付けできている。</p> <p>◇A2：意見交換から必要性の高い理由を意識しながら順位付けしている。</p> <p>◇A4：友達の考えや考えた理由を聞いて、よりよい順番に並べようとしている。</p> <p>○発表は前に行き、聞き手が見えるようにホワイトボードを提示し、その横で説明をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表者は全員が自分に注目してから話し始める、聞き手は発表を最後まで聞くことを意識させる。</li> </ul> <p>◎専門家の考えは、理由の述べ方が参考となったり、自分の考えを深める機会になったりする。一つの回答例として紹介する。</p>
<p>まとめ 5 分</p>	<p>4 本時のまとめと振り返りをする。</p> <p>○ワークシートに今日の感想とチェックをして振り返る。</p>	<p>○振り返りは短時間で記入ができるように、ワークシートの最後に入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感想を発表させる。</li> </ul>

(4) 主なスライド


今日のめあて **「必要性の高い順に並べよう」**

1. コンセンサスゲーム **「<sup>さばく</sup>砂漠で<sup>そうなん</sup>遭難したら」**

2. コンセンサスゲーム **「NASA」**

3. まとめ


コンセンサスとは、話し合って決めるということです。



今日のポイント

- ★友達の考えを しっかり 最後まで 聞く。
- ★友達の考えを 否定しないで 聞く。


友達の考えを参考にしながら、自分の考えを深めましょう。




**「<sup>さばく</sup>砂漠で<sup>そうなん</sup>遭難したら」 (練習)**

あなた達は、アメリカ旅行で飛行機に乗っています。しかし、飛行機の故障で墜落してしまいました。目を覚ますと、そこは砂漠の真ん中。


あなた達は生き残るため、飛行機から**使えそうなアイテム4つ**を見付けてきました。




見付けた使えそうなものは、下の4つです。**必要だと思う順番に並べよう。**




ライト



一人一リットルの水



方位コンパス



手かがみ

**活動の流れ**


- ① 一人が必要だと思う順番を決める (2分)
- ② 二人で話し合い、必要だと思う順番を決める (3分)
- ③ 発表 (事前に誰が何を発表するか、決めておいてください)

※理由も考えましょう。

**参考資料：専門家の考え** 注意：これが正解ではありません。

**必要だと思う順番に並べよう。**


必要な 順番	理由
1番 手かがみ	光の反射で、遠くまで助けを呼ぶことができる
2番 水	生きるため必要
3番 ライト	夜、光で助けが呼べる
4番 コンパス	方角が分かる。でもあまり必要ない



**問題「NASA」**

あなた達は、宇宙船に乗って月面に着陸しようとしている宇宙飛行士です。しかし、月面着陸の直前で故障し、墜落しました。

墜落の衝撃で、宇宙船は動かすことができませんが、使える**アイテムが9個**残っていました。



残っていたアイテムは、下の9個です。**必要だと思う順番にアイテムカードを並べよう。**



**活動の流れ**

- ① 一人が必要だと思う順番を決める (5分)
- ② 二人で話し合い、必要だと思う順番を決める (10分)
- ③ 発表

※理由も考えましょう。

## 必要性の高い順に並べよう

年 名前 \_\_\_\_\_

### 1. コンセンサスゲーム「砂漠で遭難したら!？」

飛行機にあったアイテム4個を、必要だと思う順番に並べよう。



ライト



一人一リットルの水



方位コンパス



手ががみ

必要だと思う順番に並べよう。

	アイテムの名前 (必要性の高い順に)	理由
1		
2		
3		
4		

### 2. コンセンサスゲーム「NASA」

宇宙船にあったアイテム9個を、必要だと思う順番に、アイテムカードを並べよう。

アイテム：マッチの入った箱、宇宙食、ナイロンロープ、ピストル2挺、粉ミルク、酸素ボンベ2本、磁石の羅針儀、水20リットル、発火信号

①一人で考える（5分）

②二人で相談して考える（10分）

### 3. 今日の感想を書きましょう。

--

★これもチェック！      ○△×

①理由を考えなら、アイテムを並べられた。	
②友達の考えを最後までしっかり聞いた。	
③友達の考えを聞いて、自分の考えが深まった。	